

卯月便り

気温が上昇し、半袖で過ごせる日もあり気温の面では心地よい季節。しかしながら花粉症に苦しんでいる皆さまもいます……。そして未だに猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症も予断は許されない状況が続いています。東京オリンピック・パラリンピックも開催予定となっており、心配される点もあります。一方、ワクチン接種開始に向けてようやく動き始めており、発症や重症化を防ぐこと、早く終息に向かうことも期待せずにはいられません。

さて、令和3年度、介護報酬改定がありました。

新たに求められることに対する取り組みや今まで行ってきたことの再確認をする機会にもなります。また次は令和4年度に診療報酬改定、さらに令和6年度には医療と介護の同時報酬改定があります。改定が行われても利用者様が困ることのないように、日頃からサービスの質を維持向上できるように取り組んで参りたいと思います。

突然ですが【今日の一枚】訪問させていただくお家のお庭。気温の上昇と共に本当にきれいに咲かせている花たち。季節を感じます。

あまりにきれいで撮らせていただいた写真。下はツツジ。上の花 みなさまご存知ですか？



ツツジ

午後の取り組み（活動継続中）

4月～6月の3か月間「名古屋ハートセンター」より理学療法士・心臓リハビリテーション指導士・呼吸療法認定士の藤山 裕晃さんが毎週水曜日の午後フローレンスの理学療法士に同行訪問しています。

今回藤山さんは「心不全の患者さんが増えてきている事・在宅での管理が難しく再入院される方をみて『ハートセンター』として何か出来ることはないか、ご自身が在宅の現場を知らなければ何が出来るかというところの話ができないので、実際の在宅の現場で学ばせてほしい」との事でいらっしやいました。

【病院と在宅】

疾患と病態管理について、ベース理解は勿論「患者さんの為」という目的はどこで医療に携わっても変わりません。しかし病院・在宅での視点や介入のポイント等は、急性期・慢性期でも異なります。我々在宅療養をサポートする立場としては、

早期退院し在宅移行できるように整えておくこと、そして出来るだけ長く在宅で安定した状態で過ごせるようサポートすることが大切です。今回藤山さんから、循環器専門病院の情報も教えていただき、かつ心不全悪化での入院を繰り返さない療養生活、サポート、病院・在宅での連携（情報共有も含め）の課題についても、私たちも改めて考え学ばせてもらえる機会を頂いています。週1回の午後フローレンススタッフの一員とし、6月までの3か月、ご協力を頂いております利用者様にも感謝し、よりよい連携ができるように取り組んでまいります。

ある日のサプライズ

相変わらずのサプライズ企画！無記名メッセージを添えるお誕生日企画。メッセージを見させていただくと、人柄がよくわかります。喜んでいただけて、メッセージを送った側も心が温まる企画☆彡です。「来年も頂けるように」と一言コメントされた梅村さん笑 来年も継続したいです！

